

「贈る言葉 2013」

ご卒業おめでとうございます。

三年間ご苦労様でした。

入部の日から今日までを振り返った時、それぞれに感じることは違うでしょうが、厳しい練習に耐え、たくさんの練習試合と大会に望み、良い事或いはそうでない事も一緒に経験した仲間と過ごした思い出をいつまでも忘れないでいて欲しいものです。

OB会を発足してようやく6年目に入りますが、OB会を通じてこの6年間、私は今までに無い良い経験をさせてもらっています。

私自身が歳をとったせいも有ると思いますが、どんなに永く会わないでいても、会えばあの時に戻れる自分がいて「野球やっていた良かった」と思ったりしています。

未だ若い皆さんにこんな話をしても、イマイチピンとこないかと思いますが、いつかそんな日が来た時に、あの時の中年オヤジの言葉を思い出して、その時はかけがえの無い仲間との再会を試みて下さい。

きっと何か良い事が起こります。

春からは大学生活に入る方、或いは予備校に通い再チャレンジを目指す方、或いは他の道を目指す方、それぞれの道を歩むこととなりますが、野球で培った精神は今後皆さん人生の大切な場面で必ずプラスに反映される事と思います。

野球とはそういうものです。

明日の卒業式を終えると37期の皆さんも晴れて検見川高校野球部OB会の会員となります。

現在OB会員は約550人に至り、次第に巨大ネットワーク組織になりつつあります。

皆さんはいずれ企業の一員となって社会に貢献される事と思います。

現在第2次安倍政権が発足し、アベノミクスなる金融緩和で、デフレを克服して日本の経済再生を目指すリフレーション政策が動き出し、円安・株高基調となって効果が出つつ有る様にも見受けられます。

然し、实体经济がそれに伴うか否かで先行きは変わってきます。

そんな時、このOB会組織はみなさんのお役に立てる事も有るかと思えます。

是非OB・OGの方々とコミュニケーションを持つことで豊かな未来を築いて下さい。

最後になりますが、本日みなさんが無事に卒業でき、新たなスタートが切れるのもご両親のたゆまないご努力と、優しい思いがあった事を、感謝の気持ちとしてずっと忘れずにいて下さい。

皆さんのこれからの健闘を祈ります。

2013年3月吉日

検見川高校野球部OB会 会長 三枝